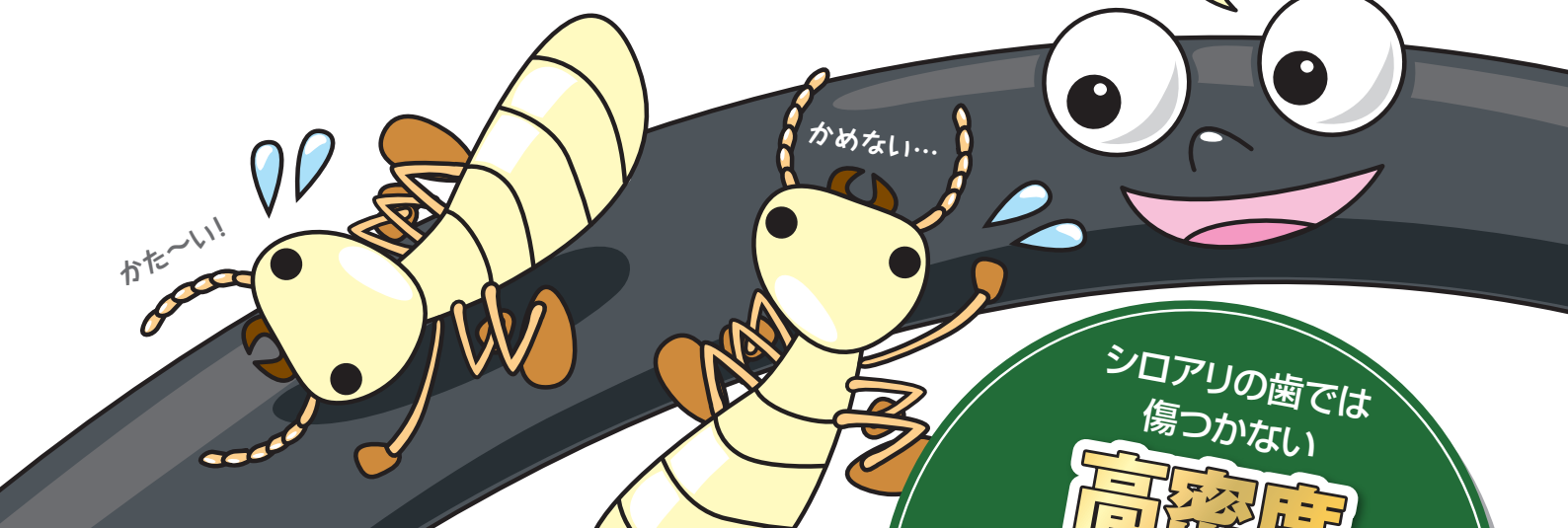


防蟻ケーブル「ありタフ®」

これまで防蟻層として主流であったナイロンではなく、
コストと**納期**に優れる「高密度ポリオレフィン」を
用いた防蟻層材料を採用しました。

シロアリによる
ケーブル被害を防止
します



■ケーブルの構造



高密度ポリオレフィン

シロアリの歯では
傷つかない
**高密度
ポリオレフィン**
を使い
ケーブルをガード!!

JAXA施設内で「ありタフ®」が使用されています

イメージ写真です



©JAXA

※ロケット内部にはご使用いたっておりません。

イメージ写真です



©JAXA

世界自然遺産・小笠原諸島でも使用

2011年に世界自然遺産として登録された小笠原諸島。豊かで独特な自然が広がるこの島は温暖な気候のためシロアリ被害が深刻な問題です。そこで使用されたのが「ありタフ®」です。



▶ 防蟻層の硬度

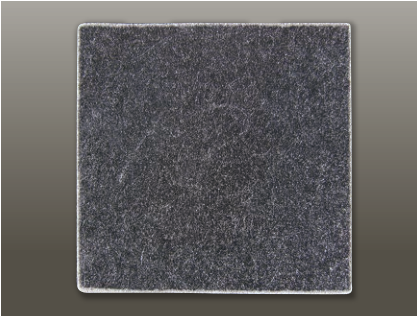
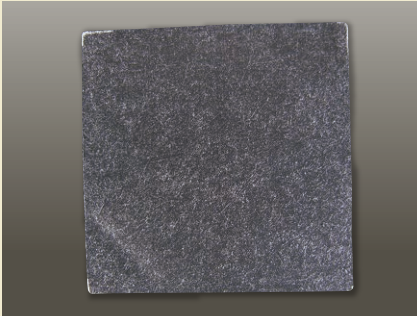
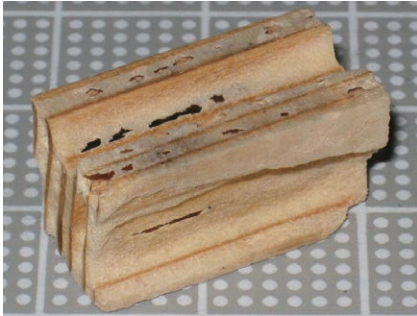
試験項目		従来品	ありタフ®
		ナイロン12	高密度ポリオレフィン
硬度	ショアD	約70	約65

※試験方法: 硬度 JIS K 7215

▶ 防蟻性能試験

試験方法 試料(ナイロン12、高密度ポリオレフィン)正方形板、約2×2cm²、各5個をイエシロアリ職蟻150頭及び兵蟻15頭を試験体に放し、28℃×21日間静置した後、試験前後の質量を測定して食害による質量減少率を求めた。

試験結果 [質量減少率: (試験前質量－試験後質量) / 試験前質量×100]

従来品	ナイロン12	ありタフ® 高密度ポリオレフィン	比較用	スギ材
	質量減少率 (%)	質量減少率 (%)		質量減少率 (%)
	0.34	0.22		41.7
				
	ほぼ食害なし シロアリによる貫通穴等の食害はありませんが、試料の端部に多少の食害が見受けられます。	ほぼ食害なし シロアリによる貫通穴等の食害はありませんが、試料の端部に多少の食害が見受けられます。		ひどい食害でボロボロ シロアリの食害によりスギ材表面に多数の穴が空き、空洞になっており、シロアリに対しては無防備です。

※仕様は事前に予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

■ ケーブルを使用する様々な場所で採用されています。

ケーブルの防蟻加工を承ります!



工場



住宅



電力会社



インフラ整備

タツタ電線株式会社 通信電線事業本部

本 社 〒578-8585 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
 東京支店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号 住友不動産芝ビル4号館10階
 福岡支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目13番8号 九電不動産ビル5階

TEL. 06-6721-3333 FAX. 06-6725-2376
 TEL. 03-5439-4925 FAX. 03-5439-4929
 TEL. 092-771-3646 FAX. 092-771-3648

www.tatsuta.co.jp

OS1909